

# NST通信

## お知らせ

- ◆委員会 12時30分～ 講義室  
12月9日(水)
- ◆勉強会 17時40分～ 大会議室  
12月16日(水)
- ◇症例検討 リハビリ
- ◇ミレキチャー 薬剤部
- ◇情報提供 未定

## 広島 NST AWARD 3位受賞!

11月7日(土)に第13回NST研究会が開催され、NSTにまつわる様々な話題の講演が行われました。当院からは木曾PTのJASPEN発表演題が県内のNST AWARDとして選出され、講演を行いました。木曾PTの演題『リハビリ室での栄養剤摂取の取り組み～患者抽出方法の変更による摂取率向上～』が、当日講演した6題の中から選ばれる、優秀演題の第3位に選ばれました！  
今回は木曾PTからのお話です。

今年の日本静脈経腸栄養学会(JSPEN in 神戸)で発表した演題が広島NST AWARDに選ばれ、発表してきました。

今回の発表は、リハ室にてリハビリの後に栄養剤を摂取するという一昨年度から開始している新しい取り組みについてです。NST患者さんは、当然食べられない人が多いのですが、同時に、歩けない、動けない人が多く、ADLが低下している人が多いため、リハビリを実施している患者さんがほとんどです。

リハビリ室での栄養剤摂取の取り組みは、リハビリと栄養のコラボレーション！まさに「リハビリテーション栄養」の取り組みといえます。



ただ、実際には栄養剤摂取に消極的な人も多いのが現状です。そこで、管理栄養士さんに栄養剤について嗜好調査して頂いたり、回診時にDrから「飲んだら力がついて、元気になるから、頑張って飲んでね」という患者さんへの励ましの一声を掛けて頂いたりして、試行錯誤しながら、なんとか取り組みの継続が可能となっています。そういった意味で、この受賞は日頃の多職種でのチーム医療が実を結んだものと考えています。今後とも、よろしくお願い致します。

NSTの患者さんはなかなか上手い出来ない、難しい人も多いのが現状です。今後多職種で知恵を出し合いながら、患者さんが元気になっていく姿を診ることができれば嬉しい限りです。

さて、来年2月には福岡でJSPEN 2016が開催されます。当院から管理栄養士3名(前川・中司・竹田)とPT1名(木曾)発表予定です。今年も頑張りましょう！

## リハビリテーション栄養とは？

『栄養状態も含めて国際生活機能分類で評価を行った上で、障がい者や高齢者の機能、活動、参加を最大限発揮出来るような栄養管理を行う事』と定義されています。

低栄養の患者にリハビリのみを行っても十分な効果が得られないこともあります。

個人に応じてリハビリと栄養管理を行う事で、リスク予防、ADL改善が期待出来ます。